

2017年11月14日

ジャカルタ ジャパン クラブ
会員各位

ジャカルタ ジャパン クラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

1 小野総括公使 冒頭挨拶

11月12日に、マニラにおいて日本インドネシア首脳会談が行われた。参考までに概要をお配りする。ポイントは、①2018年の日本インドネシア国交樹立60周年、②経済協力インフラプロジェクト、③北朝鮮問題である。国交樹立60周年については、首脳会談の場でロゴマークの発表があり、ロゴマークのパネルをはさんで両首脳が写真撮影を行った。また、安倍総理から、ハイレベルの相互訪問を通じて60周年を盛り上げたいという提案がなされた。経済協力については、首脳会談をうけて、昨13日、パティンバン港とガジャマダ大学施設の整備事業のE/N署名を行ったところである。北朝鮮問題については、核ミサイル問題の糸口をつかみ、北朝鮮に対する圧力をどうやって高めるかという点が課題。インドネシアは金日成とスカルノの時代以降、長い友好関係がある。そういった歴史も踏まえ、インドネシアに対して働きかけているところである。

2 最近の政治・治安情勢

11月12日に西スマトラのダルマスラヤ警察が放火される事件があった。弓矢、銃剣、ISILの旗を所持していた実行犯は、警察官に対して反撃したため射殺された。また、ビマヤブカシでテロリストが逮捕される事案が複数あった。

最近、大きなテロ事件等はないが、2015年と2016年の年末に大きなテロ計画が摘発されたため、今年の年末年始も国家警察による取り締まりが行われる可能性がある。年末年始に向け、更にテロへの警戒を怠らないでいただきたい。

3 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(1) 一般事件

10月11日、FXモール前の歩道橋を歩いていた邦人男性がスマートフォンをすられる事件があった。同邦人は歩道橋付近を歩いていたところ、現地男性に背中を触れられ、路上に落ちているハンカチを指されたが、自分のものではなかったためそのまま歩き去ったところ、後に左前のポケットに入れていたスマートフォンが無くなっていることに気がついた。

10月19日午後1時頃、サリナデパート前の歩道橋で現地男性に足首をつかまれ、気を取られた隙にシャツの胸ポケットに入れていたスマートフォンをすられる事件があった。

例え日中であっても歩道橋は使わない、財布やスマートフォン等の貴重品はポケットには入れないということを徹底していただきたい。日本人男性はポケットに貴重品を入れているというのは、現地の路上窃盗グループの間では有名なことである。

10月20日15-17時頃、グラド・インドネシア内のスターボックスで邦人がパソコンを操作していたところ、背中後ろに置いてあった鞆が盗まれる事件があった。鞆にはパスポートも入っていた。

同様に、日系のレストラン等で足下に置いた鞆を置き引きされる事件も発生しており、自分の持ち物からは目を離さないよう気をつけていただきたい。

(2) 歓楽施設

先日、アニス・ジャカルタ首都特別州知事がアレクシス（コタ地区の歓楽施設）の閉鎖を発表した。以前からわいせつ行為があるという噂のあった施設であり、今後も、スパやマッサージ施設など、わいせつ行為が行われている施設等は閉鎖するとのこと。捕まれば、ジャカルタ首都特別州の条例に基づいて身体拘束されるおそれもあるため、そのような施設には立ち寄らないようご注意ください。

3 報告及び連絡

(1) パスポートの紛失・盗難事案

最近1か月で10件、当地在留邦人のパスポート紛失・盗難事案があった。特に、短期出張者や旅行者はパスポートの入った鞆の管理等に注意して頂きたい。

(2) 在外安全対策セミナー

11月21日開催予定の本セミナーは、JJCを通じて案内を行っている。多くの登録を頂いているが、あと10席ほど余裕があるため関心があればお申し込み頂きたい。なお、本セミナーの開催地に係る事前アンケートの結果によれば、ジャカルタでの開催を希望する声が一番多かったため今回の開催が決定した由だが、希望の多かった他の都市（クアラルンプール、イスタンブール、カイロ）でも開催予定。

(3) VOAトラブル

先日、VOAに係るトラブルがあった。出張のため当地に入国し、空港でVOAを購入した邦人通報者によれば、領収書をパスポートにはさんで入管の窓口へ提出したところ、VOAの再購入を求められた。VOAは購入済みであり、パスポートに領収書がはさんであることを指摘すると、そのような領収書は無いと否定され、再購入せざるを得なかった。周囲で、他の外国人も同様のトラブルに遭っている様子だったので、窓口職員による意図的な行為ではないかと思ひ御報告した次第とのこと。

この事件を受け、大使館はインドネシア入国管理局に申し入れを行った。入管は当該空港職員を特定したが、本人はこのような事実は無かったと否定しており、監視カメラのデータも残っていなかった。入管からは、VOAの料金である35USDの返還等の対応は取られなかったが、当職員を一定期間窓口業務から外す措置を取ったとの報告を受けた。空港の監視カメラのデータ保存期間は約1か月ほどのため、問題が発生したら速やかに通報願いたいとのこと。

VOAに係るトラブルの件数は減ったという印象があるが、引き続き情報収集及びインドネシア側への働きかけに励みたい。

4 最近の医療事情など

(1) インフルエンザ

インフルエンザは今年の7-9月に豪州で大流行し、感染者20万人、死者200人に及んだ。南半球で流行すると、次の季節に北半球でも流行するのが常であるため、今年の冬は注意が必要。インフルエンザに感染すると、発熱後も約5日間は感染の危険があるため、熱が下がった後も3日位は外出を控える必要がある。

インフルエンザワクチンは、今年は日本では不足の見込みのため、年末年始帰国を予定されている方はジャカルタで入手可能なFluquadri 4価ワクチンの接種をお勧めする。

(2) H5N1鳥インフルエンザ

H5N1鳥インフルエンザについては、9月にバリ島で人への感染事例があり、1名が死亡した。その他のほとんどの事例は家禽への感染であるが、依然としてインドネシアは感染多発地域であり、注意が必要である。

5 質疑応答、各社（団体）からの報告

(報告)

10月26日、当地バンジャルマシンで客先に駐在している駐在員が、日本からの出張者と共にジャカルタからバンジャルマシンに移動し、取引先の工場を訪問した。その際に入管職員が来訪し、駐在員と出張者が査察を受けた。駐在員はIMTAとKITASを携行しており、出張者はパスポート（VOA取得済）を提示したところ、駐在員、出張者ともパスポートを取り上げられ、翌27日に入管事務所へ出頭を命じられた。27日に入管事務所へ出頭したものの、明確な指示は無く、夕方まで待たされた挙げ句にパスポートは翌28日に返還された。身体拘束等は無かった。職員からは、VOA取得後に州を越えて移動した場合、移動先の入管への報告義務があるということや、それに違反すれば罰金があるというようなことを口頭で言われたが、最後まで問題の所在が明確に示されることはなかった。バンジャルマシンの入管所長が最近交代し

たため、新所長が賄賂を得るために勝手なことをしているのではないかという噂がある。バンジャルマシンで同様の経験をした外国人の話も聞いている。入管での事案を通報すると、個人が特定され、バンジャルマシンでの業務に影響が出る可能性があるため、現時点では通報は控えている。

なお、本14日にも駐在員がバンジャルマシンを訪問しているが、特段問題は無い様子。

自分の知っているスラバヤのビザエージェントは、VOA取得後に州をまたいで移動した場合の入管への報告義務は無いと言っている。なお、各地の地元警察が発行する旅行証明書(Surat Keterangan Jalan)というのがある。これが無くて問題になったという話は聞いたことが無いが、地方都市を訪問する際には念のため取っておくといいかもしれない。

(報告)

木材事業につき、バンジャルマシンでの入管とのトラブルと同様の問題が見られた。現地サプライヤー数社経由で入管に確認するも、未だ回答は無い。

(報告)

IMTA, KITASの更新条件が毎年厳しくなっている。RT/RW(インドネシアの最小行政単位である隣組)組長による居住地証明だけでなく、Kelurahan(隣組の一つ上の行政単位:村)村長による居住地証明まで取らないと更新されないようである。

(報告)

ターミナル3への移転はいつかという質問をよく頂くが、正直、見当がつかない。12月目処で準備を進めていたようだが、それはほぼ不可能である。スカイチームのターミナル3への移転はほぼ終わっている。

(報告)

駐在員より、スティルマン駅近くのバス停を歩いていたところ、近付いてきた数名に周りを囲まれたが、強盗だと察知し走って逃げたところ無事だったという報告があった。

(質問)

歩道橋付近での強盗事件について、現地警察の対応はどのようなものか。

(回答)

現地警察に対しては、本件について大使館から何度も申し入れをしているが、犯行グループは複数あり、地方から来ているグループもあるため、特定や追跡が難しい。警察は、自分たちの警察署を守るので手一杯であるという話もあり、認知はしているが対策は取れずという状況である。なお、インドネシア人の被害者も多い由。

(日本人学校より報告)

(1) 前回の避難訓練の際に懸案事項として上がっていた教員用のヘルメットを100個購入した。今後児童用も注文する予定である。

(2) 10月26日、インフルエンザ等による欠席児童が多数にのぼり、小学部1年生のクラスで学級閉鎖となった。現在も約40名の児童が欠席しており、保護者に対して注意喚起している。

(3) 11月18日、小学部の学習発表会及び中等部の授業参観を実施予定。多数の保護者が来校する予定のため、警備員を増員して安全管理を徹底する。

(質問)

先日、インドネシア警察が警察官に対して拳銃を追加で配布したが、拳銃の所持及び使用に関するガイドラインが存在しないというニュースがあった。その後、何かアップデートはあったか。

(回答)

特に把握していない。インドネシア警察に確認したい。